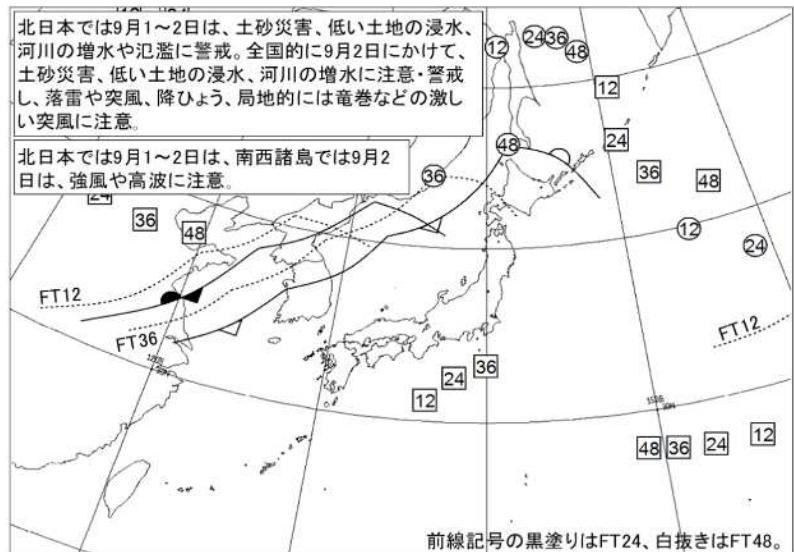


# 短期予報解説資料 2025年8月31日03時40分発表

気象庁

## 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5940m以上の上空の高気圧に対応して、地上の高気圧が日本の南にほとんど停滞。
- ② 500hPa 5820m付近の正渦度移流に対応して、前線が華北～朝鮮半島付近にのびている。
- ③ 300hPaで-30℃以下の寒気を伴う上層寒冷低気圧（UCL）に対応する東シナ海の気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、東シナ海～南西諸島付近では、活発に発雷、非常に激しい雨を解析。
- ④ 東北南部～佐渡付近の気圧の谷に向かう下層暖湿気の影響で、佐渡付近では雷を検知、激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の前線は、31日は黄海付近～日本海にのびる。9月1日は、朝までに前線上の沿海州付近で発生する低気圧が宗谷海峡付近に進んで、温暖前線が北海道地方を北上。9月2日は、低気圧がオホーツク海から千島近海に進んで、寒冷前線が北日本を南下する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、北日本では9月1～2日は、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ② 1項①の上空の高気圧は、9月2日にかけて日本の東に移動。地上では、日本の南の高気圧は、31日はほとんど停滞、9月1～2日は南鳥島近海を西に移動する高気圧に取り込まれて不明瞭になる。西～北日本では9月2日にかけて、晴れて気温が上昇し猛暑日となり、最高気温が40℃前後まで上昇する所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。
- ③ フィリピンの東にある低圧部が、9月2日にかけて熱帯低気圧となって日本の南に進む。
- ④ 1項③のUCLは、9月1日にかけて東シナ海にほとんど停滞、9月2日は台湾付近を南下する。
- ⑤ 31日は、1項④の気圧の谷が次第に不明瞭になりながら、東北地方をゆっくり北上する。
- ⑥ 2項①の低気圧や前線の南側では9月2日にかけて、日中の昇温や2項②の高気圧縁辺や2項③の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気、2項④のUCL、2項⑤の気圧の谷の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。全国的に9月2日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ⑦ 2項①の低気圧周辺や2項③の熱帯低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。北日本では9月1～2日は、南西諸島では9月2日は、強風や高波に注意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：九州北部100mm。② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。③ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

## 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。